

事業名	広聴活動費	財務コード (事業)	003501
-----	-------	---------------	--------

細事業名	県政クイックアンサー費
------	-------------

担当部課室	知事政策 局 広聴広報 課 広聴 担当 (内線)	1453
-------	--------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(直営)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>県民</td> <td>①県政に対し高い関心を持ち様々な意見や質問等を県に向け発信している ②意見や質問について、県から迅速・的確な回答などを受けている</td> <td>①県民とともに創る県政の推進 ②的確かつスピーディーな県政の推進</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	県民	①県政に対し高い関心を持ち様々な意見や質問等を県に向け発信している ②意見や質問について、県から迅速・的確な回答などを受けている	①県民とともに創る県政の推進 ②的確かつスピーディーな県政の推進
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
県民	①県政に対し高い関心を持ち様々な意見や質問等を県に向け発信している ②意見や質問について、県から迅速・的確な回答などを受けている	①県民とともに創る県政の推進 ②的確かつスピーディーな県政の推進					
事業の内容 ※主に23年度	<p>・ 県民ニーズに迅速に対応するスピーディーな県政の実現を図るため、県民からの県政に対する意見や提言等に対して1週間(5開庁日)以内に回答する。</p> <p>※ 制度周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 県ホームページへの掲載 専用はがき等を備えた県政ポストを県内312箇所に設置(県施設、市町村役場、農協等) テレビ、ラジオ等の広報媒体を利用したPR 						
根拠法令等							

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	クイックアンサー受付件数	404件	360件	364件	360件	360件	活動指標 目標設定の考え方 過去の実績件数を参考にした。 データの出典等 過去実績件数
	活動指標達成率(実績値/目標値)			101.1 %			
成果指標	平均回答日数	3.6日	5.0日	3.6日	5.0日	5.0日	成果指標 目標設定の考え方 第二期チャレンジ山梨行動計画の目標値 データの出典等 第二期チャレンジ山梨行動計画
	成果指標達成率(実績値/目標値)			138.9 %			
決算額、予算額	12		281	557	303	成果指標によらない成果 迅速かつ丁寧に対応する姿勢が全庁的に定着しつつあり、スピーディーな県政の実現に向け確実に成果を上げている。 ・H23処理件数 364件 ※成果指標達成率 1÷(実績値/目標値)	
(千円) うち一財額	12		281	557	303		
所要時間(直接分)	820 時間		805 時間	770 時間	767 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	820 時間		805 時間	770 時間	767 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	1,657		1,627	1,556	1,550		

III これまでの事業の見直し・改善状況

受付・対応方法の見直しを行った。(H23) 県政クイックアンサー専用はがき等を備えた「県政ポスト」の設置場所を随時見直し。(道の駅に新たに設置)

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
a	a	県政に対する幅広い意見等が多く寄せられている中で、平均回答日数3.6日という迅速な回答がなされている。内容によっては職員が直接県民のもとに出向き説明をするなど、迅速かつ丁寧に対応する姿勢が全庁的に定着しつつあり、スピーディーな県政の実現に向け確実に成果を上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目
有	県政クイックアンサーの投稿方法については、現在、インターネット、ファクシミリ、封書及びはがきによることとしている。こうした中、はがきについて、利用率が低下している(H21 17%、H22 13%、H23 12.7%)こと、投稿者の個人情報保護の観点で問題があること(H21～H23の3年平均匿名割合71%)、また、封書で代用可能であることから、はがきについては廃止する。	d i k

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の 判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
一部廃止	郵便物による投稿については、封書によることで包括できるため、はがきは廃止する。

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。